（別添資料１）

事業所名　Colors(児童発達支援・放課後等デイサービス)

支援プログラム（参考様式）

作成日　7 年　1 月　20 日

法人（事業所）理念		法人理念：全ての人々にとって理想の場所である様に。 事業所理念：子供達の未来の可能性を広げる福祉サービス。運動療育を用いた療育をメインとし子供達がそれぞれの色を輝かせる。
支援方針		見守る・預かるだけでなく様々なプログラムを用いた療育により子供達の「自分らしさ」を輝かせる。 子供達が自ら適切な行動・学びをおこせる指導環境づくり。 常に子供達の心に寄り添い、ご本人はもちろん保護者様が安心出来る安全な場所の提供を行っていく。
営業時間		10 8 時　00 00 分から　19 17 時　00 00 分まで　送迎実施の有無　（あり）　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	(a)健康状態の把握をする為に、施設到着時の検温・視診、また活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変の把握につとめる。 (b)食事・整容・準備・片付けに関するプログラムを実施
本人支援	運動・感覚	(a)粗大運動：姿勢・移動・体力・ジャンプ・ボールに関するプログラムを実施。 (b)微細運動：つまむ・ひっぱる・つねる・つまむ等の巧緻動作に関するプログラムを実施。 (c)応用運動：マット・鉄棒・跳び箱などの道具を使用した複雑な運動やドッジボール・サッカーなどのルールを取り入れたプログラムの実施。
本人支援	認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得：マッチング課題、構成課題、触覚遊び等様々な課題を通して、認知機能の発達を促す。 (b)空間・時間・数などの概念形成の習得：発達段階に応じた数や時計、時間の課題を提示。具体物を使用する段階から徐々に抽象的な思考へすすめるよう支援する。 (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：スケジュールの視覚化、環境の構造化を取り入れ、誰にでもわかりやすい活動空間にすることで、適切な行動を促す。
本人支援	言語 コミュニケーション	(a)就学前：非言語(身振り・指さし・サイン・ジェスチャー)、言語(2語文・3語文・名詞・動詞・形容詞など)、指示理解に関するプログラムを実施。 (b)就学後：文字を読む・書く、文章を表現する、行動・感情のコントロールに関するプログラムを実施。
本人支援	人間関係 社会性	(a)仲間づくりと集団への参加：小集団での活動を通し、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるよう支援する。 (b)施設外での社会性の構築：長期休暇には外出活動を設定し、公共の場でのルールを知る経験を積む。
家族支援		・保護者と情報共有を行い必要に応じて面談の実施。 ・子供の発達状況や特性の理解に向けた　相談援助を行う。 ・子育ての困りごとへの相談援助
移行支援		＜インクルージョンに向けた取組の推進＞ ①事業所で習得した行動を園や学校、家庭などでも同様の行動が出来る様支援を行う。 ②インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動する事を推進するため、地域の公園や公共の施設を積極的に活用し集団活動を行う。 ＜ライフステージの切り替え＞ ①学校や関係機関と連携しライフステージの変化に適応しやすいよう支援を行う。 ②進路先が就労施設等となる中高生には同一法人内のB型作業所の見学や体験を通し将来のビジョンの手助けを行う。
地域支援・地域連携		・こども園、保育園、幼稚園や学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助を行っていく。 ・相談支援事業所との連携
職員の質の向上		・新人研修：ビジネスマナー、コミュニケーション研修。制度に関する研修。療育に関する研修。 ・全社員向け研修：虐待防止研修。事故防止研修。感染防止研修。災害に関する研修。 ・自立支援協議会への参加
主な行事等		①運動に関するプログラム(ボールや縄跳びなどの道具を使った運動や鬼ごっこ等のルールを取り入れた運動、サッカーなどの他者との協力を必要とする運動等) ②SSTに関するプログラム(電車の乗り方、買い物の練習、職業体験等) ③季節に関するプログラム(お正月遊び、お花見、BBQ、水遊び、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会等) ④その他のプログラム(リトミック、登山、魚釣り、プログラミング等)